

特定非営利活動法人 印旛沼広域環境研究会
〒285-0837 佐倉市王子台3-2-2
TEL:043-462-2123 FAX:043-462-4323
E-mail:npo-inba@ar.wakwak.com

(株)大和 内
発行人 太田 勲
編集者 編集部

2014年9月号

No.25

2014年度通常総会開催

開催日時 2014年5月25日(日)午後2時~
開催場所 公園地会館 (大会議室)

議 題

- 第1号議案 2013年度事業報告の件
 - 第2号議案 2013年度会計収支報告の件
 - 第3号議案 2014年度事業計画の件
 - 第4号議案 2014年度会計収支予算の件
- 以上、原案のとおり可決承認されました。

主な内容は次のとおりです。

(1) 2013年度事業報告

- ① 印旛沼在来水草の保全と復元事業
「人工浅瀬いかだ」で育成している水草のうち、マツモが消滅したため、和田小学校の池から移植しました。
- ② 浮き棧橋の改修工事
木製の浮き棧橋が危険になったため、アルミ風スチール板製に改修し、環境学習が安全になりました。
- ③ 水草バンクシステムの継続
佐倉市・印西市内の15校の池に移植したアサザ水草バンクシステム(平成15年から開始)の継続として、佐倉地区フルーパ他3グループにより7月、8月に各学校を訪問して生育状態を調査しました。
- ④ 特定外来植物ナガエツルノゲイトウの除去
笠井記念舟戸水草園のアサザ池にナガエツルノゲイトウが繁殖したため、7月から3回にわたり除去作業をおこないました。
- ⑤ 「印旛沼(千葉県)産オニバス発芽」論文発表
平成24年9月21日に、笠井家の水槽で発見されたオニバスについて、千葉県中央

博物館の林紀男理学博士のご指導とご協力をいただき、千葉生物誌に発表しました。

⑥ 水草復元と親水性回復の啓蒙運動

佐倉市民協働事業に採択され「屋形船に乗って印旛沼体験」を7月に開催。2月に報告会にて発表しました。

(2) 2014年度事業計画

- ① 笠井記念舟戸水草園整備事業
「人工浅瀬いかだ」での水草保全は今後も継続を図ります。
- ② 水草園観察学習のため、また市民の憩いの場としてのかっぱ公園の管理保全活動
独立行政法人水資源機構と、かっぱ公園の管理契約をして、毎月1回程度草刈り、花壇造成のための作業を行い、春・秋に花を咲かせる予定で進めます。
- ③ 水草復元と親水性回復の啓蒙運動
「屋形船に乗って印旛沼体験」も3年目となり、乗船回数を増やし、より多くの親子に参加してもらえるよう企画いたします。
- ④ 「印旛沼流域環境・体験フェア」に参加
第12回の体験フェアに参加し、児童の俳句作品の表彰と展示、どじょうつかみを行います。



総会の会場となった公園地会館

顔が楽しそうに輝いています。

遠くに見える鵜やシラサギ、時折水の上に跳ね上がる小魚達、また、水面に繁茂するオニビシなどの説明を受け、楽しい感想を皆が俳句にまとめていると船は船頭さんの誘導でとある岸辺に、そこで、マコモやヒメガマなどを採取しました。

1時間のツアーはあっという間に過ぎ、園原、本橋さん達スタッフに迎えられて下船です。児童達には充実した夏季学習になったことでしょう。(中野)



堀田和弘先生による船上学習

～ Bグループを担当して ～

毎年恒例の「屋形船で印旛沼探検」が本年度も7月30日に開催されました。私の担当のBグループのバス利用者は9時30分に臼井駅北口に集合でしたが、私が集合時間の30分前に現地に行きましたところ、既に3組の子供たちが集まりバスの到着を待っていました。この行事が待ちどろしかったようです。

内水面水産研究所では展示室見学、林紀男先生の「生物多様性とミジンコの不思議」のお話を聞きましたが、児童達は特にミジンコについて興味を持ったようです。夏休みの宿題の資料にするためでしょうか、真剣にメモを取っている児童もいました。

昼食後、屋形船乗り場へ移動し定刻14時30分から「さくら丸」と「遠部丸」の2隻に分かれ印旛沼体験乗船をしました。

船中では小倉久子先生と堀田和弘先生から印旛沼・同沼に住む魚や鳥等についての説明があり、児童達も真剣に話を聞いていました。下船時に俳句を出してもらいましたが、児童だけでも85首もの作品が提出され盛況な一日でした。(高山)

舟戸かっぱ公園整備開始

～ 市民の皆様が自由に遊べる公園に ～

独立行政法人水資源機構千葉用水総合管理所と舟戸かっぱ公園の管理契約を結びました。印旛沼

に自生していたアサザ等の貴重な水草を増やしている笠井記念舟戸水草園。その水草園の表玄関としてこの公園を整備していくことにしました。

将来は市民公園として多くの皆様に自由に遊びに来て頂ける公園を目指しています。その第一歩として春には菜の花、秋にはコスモスが咲く公園にしようとボランティアの皆様と一緒に公園整備を始めました。平成26年8月24日(日)は花壇の土地整備としてユンボを使って2メートル×100メートルの花壇の基礎を作りました。将来は200メートルの花壇を目指していますがこの日まずは小さな第一歩を踏み出しました。



ユンボを使っての花壇の基礎作り

平成26年9月14日(日)は花壇整備に向けて前回耕した土地から石や草の根っこを取り出し花壇の畝が出来ました。だんだんと花壇らしくなっていく姿に疲れを忘れて作業しました。



暑い太陽の下での作業の様子

今後は美しい花壇を夢見ながら土作り、雑草除去、元肥の施肥等多くの栽培管理作業を行い、その後菜の花は10月下旬、秋のコスモスは4月から6月に種蒔きを予定しています。

市民の皆様が花咲く舟戸かっぱ公園に気軽に遊びに来て頂けるように皆で頑張っています。そして花を楽しむと同時に水草園へも足を運んで印旛沼の貴重な水草も観察して頂きたいと思っています。まずは春の菜の花をご期待下さい。また、水草園や舟戸かっぱ公園整備のボランティアにご関心がおありの皆様は事務局までご連絡下さい。心より皆様をお待ちしています。(宇都宮)



水草バンクシステム 二 16校訪問 二

笠井記念水草園で保全している印旛沼在来水草のアサザを佐倉市・印西市の小中学校に移植して増やし、きれいになったら印旛沼本体に戻したい。



【佐倉地区：26年7月15日訪問】

例年は5名で活動していたが、今年は2名増の7名で、7月15日に和田、弥富、山王、寺崎、佐倉、佐倉東、印南の7校を訪問した。

残念ながら弥富小の繁殖が悪いので、今年も和田小（7校中一番の繁殖）より分けてもらい、今年は麻布に苗と土を入れ、紐で結って土の入ったプランターに石と一緒に植え付け池に入れる。

印南小も同様とする。佐倉小はまずまずだったがちょっと少なかったのので、小さい植木鉢に植え池に入れる。他の学校はこれから新しい芽が出そうなのでそのままとした。

和田小学校



花が大きく、唯一マツモが繁殖し貴重。

寺崎小学校



花小さいが新葉見る。ヒメガマ蕾あり。

山王小学校



池一面に繁茂。大変良好。

佐倉小学校



昨年移植した株が増え、順調な根付き。

佐倉東小学校



花小さいが新葉見る。マコモ生育。

印南小学校



ヒメガマ、マコモ順調。和田小のアサザ移植。

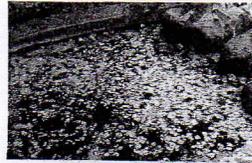
弥富小学校



池が狭くなったが、アサザとスイレンが共生。和田小よりアサザを補植。

【臼井・志津地区：26年8月26日訪問】

千代田小学校



アサザ7割に他の品種と混合。良好。

志津小学校



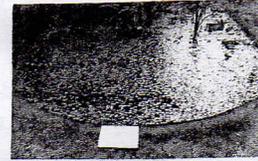
アサザと他の品種が混合しているが良好。

間野台小学校



完璧な状態で育成している。

王子台小学校



マコモ育成。きちんと管理され良好。

【印西地区：26年7月18日訪問】

いには野小学校



大変良好。生き物が多く学習に活用。

本笠第二小学校



花大きく良好。株をもらい他校に移植。

六合小学校



スイレンと離し、本笠第二小から移植。

印旛中学校



深いため、底上げして新たに移植。

宗像小学校

校舎改修のため新しい池となり、移植不可能となっています。しかし笠井貞夫先生の母校でもあり、今後もアサザを移植してもらえるよう努力します。

◇ 編集後記 ◇

猛暑の夏も過ぎ、幾分秋の気配が感じられる季節を迎えました。今号では、今年度前半の主な行事をいくつかご紹介いたしました。何か少し物足りない気もいたします。今後は皆様から旅行記や俳句、川柳などのご寄稿を頂き、もっと誌面に趣をもたせたいと臨んでおります。何卒ご協力のほどよろしくお願いたします。（編集部）